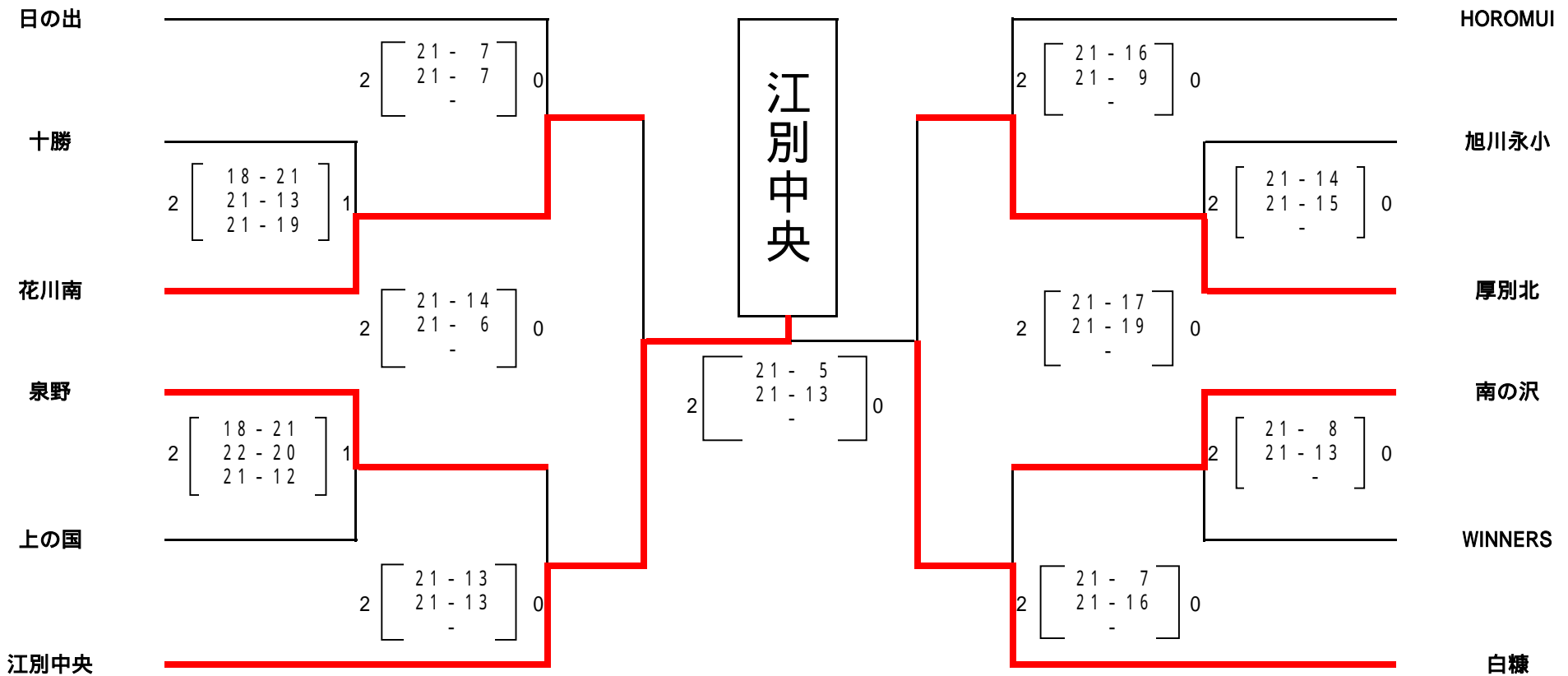


大会名 第7回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会
 競技成績 男子決勝トーナメント戦
 期 日 平成21年12月5日(土)～6日(日)
 会 場 道立野幌運動公園総合体育館 及び 江別市民体育館

大会委員長 白髭 俊穂
 競技委員長 森 伸行
 審判委員長 野村 朋範
 総務委員長 倉 隆久



【準決勝の戦評】

江別中央 VS 花川南

1セット目、花川南のサーブで始まり、序盤は花川南の1番高尾君と江別中央の9番阿部君の打ち合いで、点の取り合いとなった。終盤は江別中央の9番阿部君、10番神田君にボールを集め、逃げ切り先取した。2セット目、江別中央の6番伊庭君のサーブで、花川南を崩し、又、江別中央の9番阿部君と10番神田君にボールを集め、力強いスパイクを決め勝利を収める。

白糠 VS 厚別北

長身のエースアタッカーを有する両チームの対戦は、好レシーブが続く見ごたえのある試合となった。第1セット、10点までは競り合いが続いたが、白糠が土田君のスパイクや村上君のサーブポイントで、8連続得点し、粘る厚別北を突き放した。第2セットは、両チームとも好レシーブが続き、見ごたえあるラリーが連続した。点差のつかない接戦は終盤まで続いたが、最後は、白糠が土田君のスパイクとブロックで厚別北を制した。

【決勝の戦評】

江別中央 VS 白糠

1セット目、前半江別中央のサーブが良く、白糠のミスが目立った。その後も白糠は、リズムを作ることができず、江別中央らしいコンビバレーで圧勝する。2セット目、スタートは互角の戦いとなった。しかし、白糠のサーブカットのミスなどもあり、江別中央へのチャンスボールが多くなった。その後も江別中央はリードを保ち、21対13で勝利を収めた。